

## 平成27年度小牧市レジ袋削減協議会 会議録

会 議	平成27年度小牧市レジ袋削減協議会総会
日 時	平成27年7月14日（金）午前10時～午前10時40分
場 所	小牧市役所東庁舎 会議室1-1
出席者	<p>《敬称略》</p> <p><b>【事業者】</b>          伊藤（ユニー(株)アピタ小牧店）          浅井（尾張中央農協）</p> <p><b>【市民団体】</b>          林（小牧市女性の会）          倉知（小牧市女性の会）          平野（こまき環境市民会議）          落合（小牧市区長会）          大倉（小牧市消費生活改善推進員会）          北出（ひまわり消費研究会）          河野（小牧市小中学校PTA連絡協議会）</p> <p><b>【行政】</b>          松岡（小牧市市民生活部長）          川尻（廃棄物対策課長）          林（環境対策課長）</p> <p><b>【事務局】</b>          加藤（環境対策課）          山中（環境対策課）</p>
傍 聴	なし
内 容	<p>1. 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年7月現在の協議会参加者、12事業者、15店舗              平成26年12月にスギ薬局小牧中央店がレジ袋無料配布となり脱退              平成27年6月3日にマックスバリュ中部の小牧駅西店と「小牧市におけるレジ袋削減の取組みに関する協定」を締結</li> </ul> <p>2. 議題</p> <p>(1) 平成26年度活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・別添資料5ページ～9ページのとおり</li> </ul> <p><b>【市民団体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の広報で啓発したとあるが、見ていないという人もいる。年に1回広報に掲載しただけでは市民の目に届きにくいのではないかと。</li> </ul>

**【事務局】**

・個人向けの「啓発」部分と事業者向けの「参加事業者募集」が一緒になっていて分かりにくかったかもしれないので、今年度はそれぞれ内容を分けて掲載することも考えたい。

**【市民団体】**

・市民には、女性の会の皆さんが力をいれてマイバックに取り組みられたこともあって随分定着してきたので、事業者側の参加を増やしていくことが必要なのではないか。

・資料にある「削減による効果」はよいのだが、「あなたがレジ袋削減に取り組むとこれだけ効果がある」というように個人に訴えかけたほうがよりいいのではないかと。

・協力事業者が広報に掲載されているが、名前も字が小さい。もう少し見やすくしたほうがいい。

・人に訴えかけるには、キャッチフレーズをつけて目がいくようにしたほうがいい。

**【事務局】**

・皆さんの意見を参考に広報の掲載記事について考えていきたい。

**【市民団体】**

・辞退率も90%ほどで落ち着いており、これ以上のレジ袋削減は難しいと思う。

**【事務局】**

・ポスターを貼っているコンビニも数件みかけたことがあるし、レジで「袋は要りますか」といった声かけもしてくれる。フランチャイズ協会が作製したレジ袋削減啓発のポスターがコンビニ各店舗に貼ってあり、業界でも削減の取組みはあるようだが、レジ袋を有料化してもらい参加事業者を増やすというのは会社の方針もあり難しいと思う。

**【市民団体】**

・協議会を脱退した事業者からは脱退理由を聞いていますか。

**【事務局】**

・他店との競合等もあり、有料化しているとサービスが低下したと捉えられるなど会社の方針もあり、レジ袋を無料配布にもどしたと聞いた。

(2) 平成27年度事業（案）について

・別添資料10ページのとおり

**【市民団体】**

・昨年度作製したポスターをコンビニではあまり見かけないので、もっと貼ってもらうように働きかけたほうがいいのではないかと。

**【事務局】**

・貼ってもらっているところもある。昨年度作製したポスターは子どもに書いてもらったこともあり毎年作り直さずしばらくはこれを利用したい。掲示依頼についても、昨年行ったばかりなので、毎年依頼するのはお店にも負担となるので少し間をあけたいと考えている。

**【市民団体】**

・春日井市のイベントで春日井市の職員に太陽光システムの補助金のことを聞いたら春日井市では市税で全てまかなっているとのことで、小牧市がレジ袋収益金の寄付金を太陽光システムの補助金に使っていることを知らないようだった。もっと PR していく必要があるのではないか。

**【事務局】**

・広報やホームページなどを通じて発信していきたい。

**【会長】**

・まとめとして、今後も「事業者へ参加を働きかける」「市民への啓発を行う」ことを進めていくということ、中でも広報の掲載方法については、委員の意見を参考に、事務局でよい工夫をしてください。